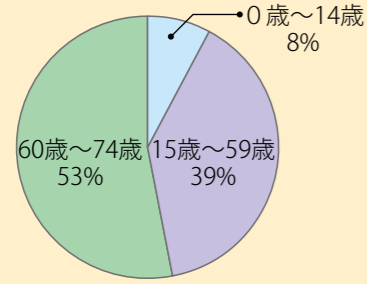


# 薩摩川内市国民健康保険の現状

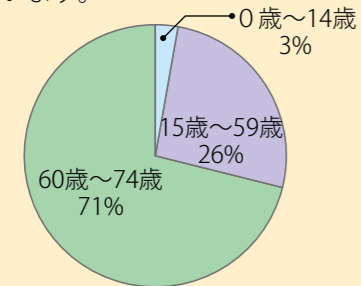
## 【年齢階層別被保険者数】

○被保険者全体の53%は、60～74歳となっています。



## 【年齢階層別医療費】

○医療費全体の71%は、60～74歳となっており、医療費は、60歳代から年齢をますます高くなっています。



## 《参考》

### 【平成21年度 国保1人当たり医療費】

○本市の1人当たり医療費は、全国・県平均を大きく上回っています。  
○平成21年度の1人当たり医療費は、県下19市中、高い方から「9位」となっています。

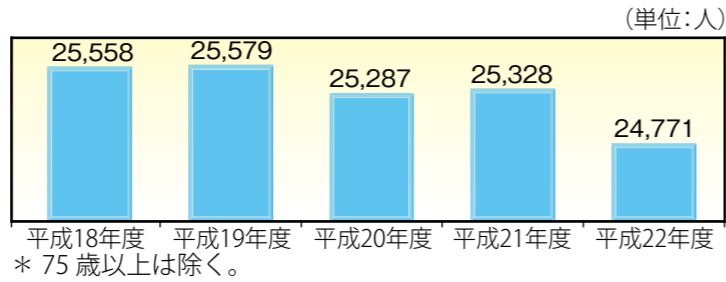
	順位	1人当たり(単位:円)
国平均	—	276,353
県下市平均	—	342,494
薩摩川内市	9	364,746

\*平成21年度の国平均は速報値

## ③ 国民健康保険の現状

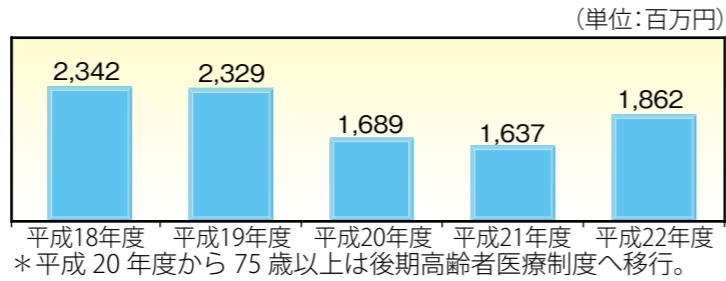
### ① 被保険者数の推移

・平成22年度は、減少しました。



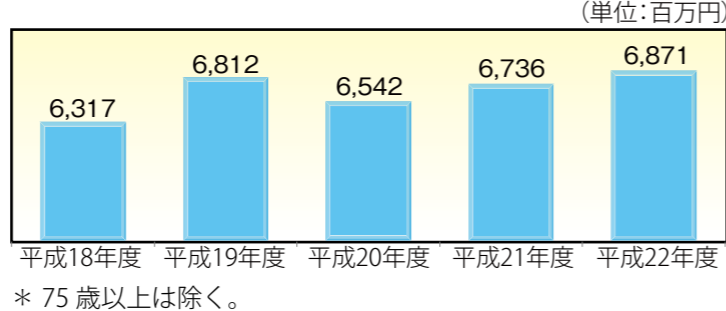
### ② 国保税収入額の推移

・税率の引き上げにより、平成22年度は前年度と比較して**2億2千万円増加**しました。

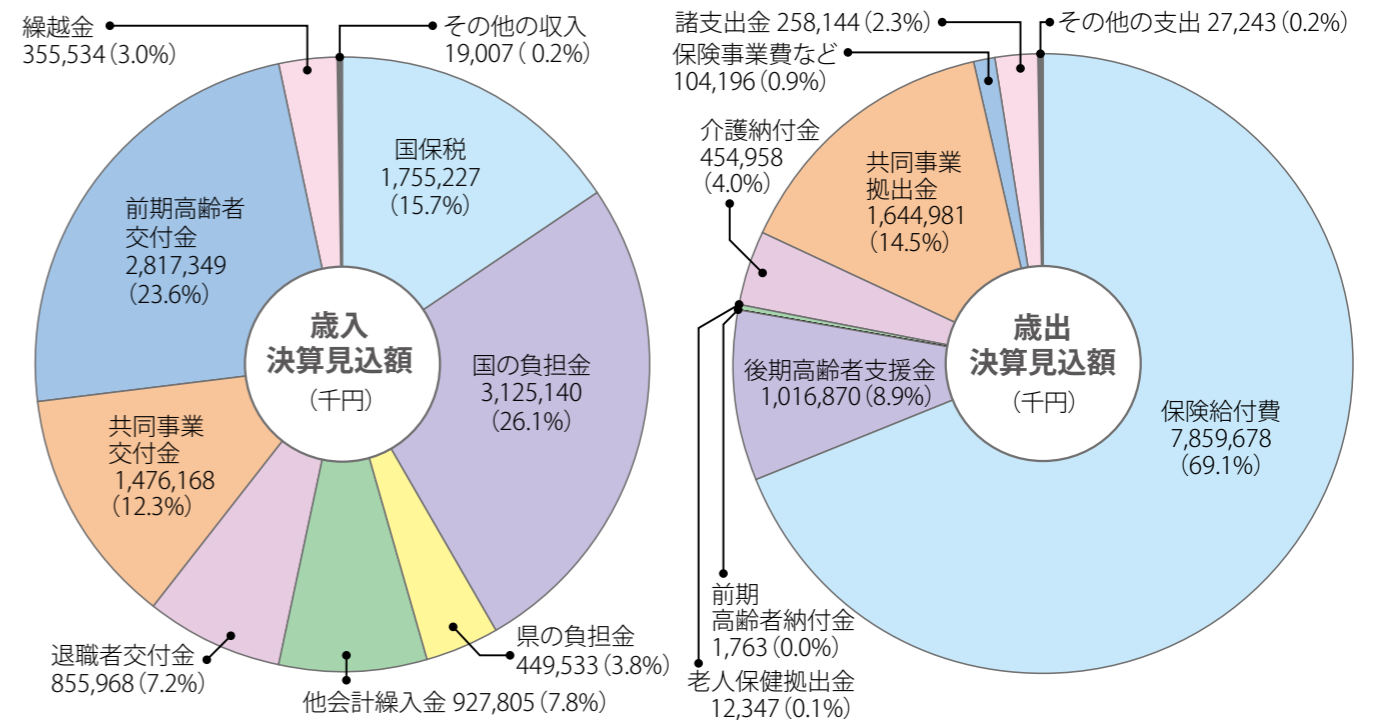


### ③ 医療費(保険者負担分)の推移

・平成22年度は前年度と比較して**1億3千万円(2%)増加**しました。



## ① 国民健康保険事業予算の仕組み(平成22年度決算見込)



## ② 国民健康保険事業特別会計 単年度収支の状況

区分		各年度決算額(平成22年度は決算見込み額) (単位:千円)				
歳入	歳出	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
歳入 総額①	歳出 総額②	10,885,283	12,113,913	11,158,402	11,384,208	11,961,641
歳入 総額①	歳出 総額②	10,618,011	11,852,650	10,893,678	11,028,674	11,380,180
収支差引(①-②)③		267,272	261,263	264,724	355,534	581,461
基金・財政支援繰入額④		150,000	310,000	150,000	353,234	250,000
前年度繰越金⑤		274,950	267,273	261,263	264,724	355,534
基金積立金⑥		826	1,729	922	208	0
公債費⑦		13,704	13,704	13,704	13,704	13,704
単年度収支(③-④-⑤+⑥+⑦)⑧		△143,148	△300,577	△131,913	△248,512	△10,369
基金残高⑨		580,375	272,104	123,026	0	0

\*単年度収支とは、当該年度(単年度)の収入から支出を差し引いた額で、前年度繰越金や赤字補てんのための繰入金などを除いた額です。

\*単年度収支⑧は、平成22年度改善しましたが、依然として約1千万円の赤字となっています。

\*平成22年度は、基金繰入がなく、一般会計から法定外の繰入を2億5千万円行いました。(基金・財政支援繰入額④)

## 医療費が増えると国保税も引上げに!

国保税は医療費の推計をもとに決め、加入者が病気やけがをしたときの医療費に充てます。日頃から健康づくりを心掛け、「医療費を節約」しましょう。



## 医療費を有効に使うためのポイント!

- 1 同じ病気での重複受診はやめましょう。
- 2 かかりつけ医を持ちましょう。
- 3 薬をたくさん欲しがるのはやめましょう。
- 4 診療時間内の受診を心掛けましょう。
- 5 年に1回は健康診断を受けましょう。
- 6 お医者さんを信頼し、指示を守りましょう。
- 7 ジェネリック医療品を有効活用しましょう。

## 「特定健診・がん検診」により、早期発見・早期治療!

### 「金銭的な負担」と「身体的な負担」の軽減を!

国保の被保険者の皆さまの医療費は、60歳代から年代が上がるごとに急激に高くなっています。

60歳代以降発症しやすい生活習慣病やがんなどについては、「40・50歳代」から「特定健診やがん検診」を受

け、生活習慣の改善や病気の早期発見・早期治療を行うことによって、将来の金銭的な負担(治療費)や身体的な負担(手術・リハビリなど)を軽減できます。

【問合せ】=本庁保険年金課 ☎(23)5111(内線2841)